

物流ABC

物流コスト削減に役立つツール

作業の無駄を把握し
コスト低減の糸口を
見つける



仕事の窓

経済産業部
BUSINESS REPORT 3

沖

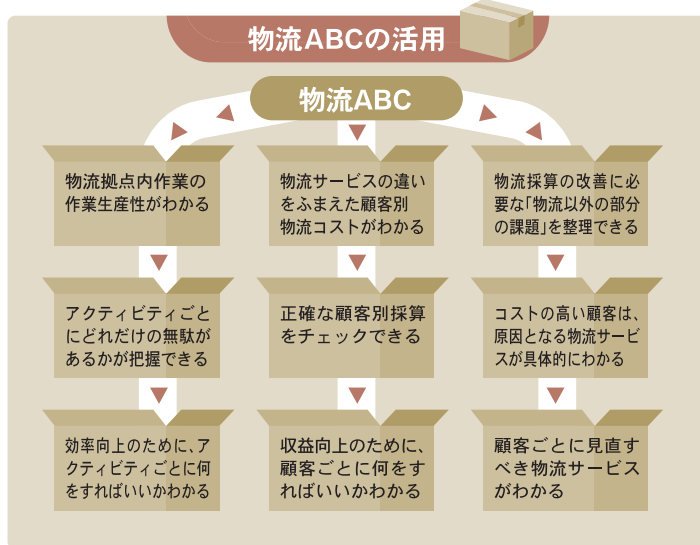
縄管内の製造業者、卸売業者、小売業者及び物流事業者等を中心とした中小企業を対象に、社内（自社）における物流コスト低減等に向けて取り組むことの重要性の認識を高めるとともに、ひいては省エネ対策へも繋げることを目的に「物流ABC講習会」を十月二十七日（那覇市）、二十八日（沖縄市）で開催しました。



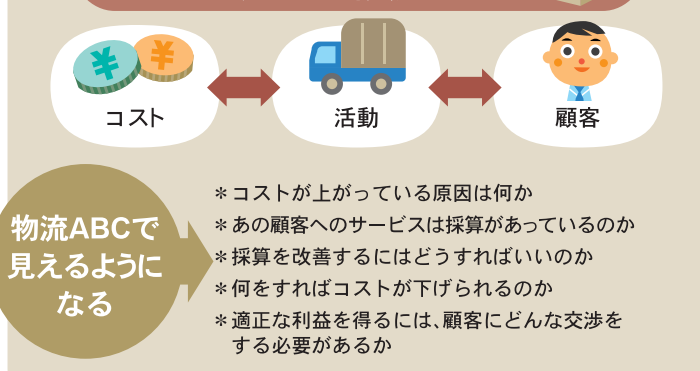
物流ABC講習会

物流ABCとは

物流ABCとは、物流管理のために登場した、比較的新しい技法です。



なぜ物流ABCが有効なのか



物流ABCマニュアルの目的
物流ABCマニュアルは、事業者の方が自社の物流コストを他社標準事例と比較しながら作業のムダを把握し、コスト低減の糸口を見つけられるようにすることを目的としております。すなわち、物流コスト低減を望む企業が、物流効率化に取組むのを支援するものです。物流を効率化するためには物流活動とコストの因果関係を正しくつかむことが不可欠であり、そのため、どの活動（作業）にどれだけのコストがかかっているのかを把握する必要があります。このマニュアルでは、物流ABCの技法を用いて活動ごとにコストを算定することが可能となります。また、算定結果をもとに輸送費の低減等のメニューが豊富に用意されており、どのような対策を行えば、どれくらいのコスト低減余地があるのかを具体的に算定することができます。

物流ABCの手法を採ることによるメリット

物流ABCによるコスト算定を行うことにより、次のようなメリットがあります。

- 1 物流を改善し、物流コストを下げる**
例えば「施設内の活動をスピードアップして必要な人員を減らすと、これだけのコスト削減になる」ということが計算できます。
- 2 現場の無駄を発見する**
作業に関わる問題は、計算の結果、コストとして算定されますから、作業の無駄を改善すれば、これだけのコスト削減につながるという計算も行えます。



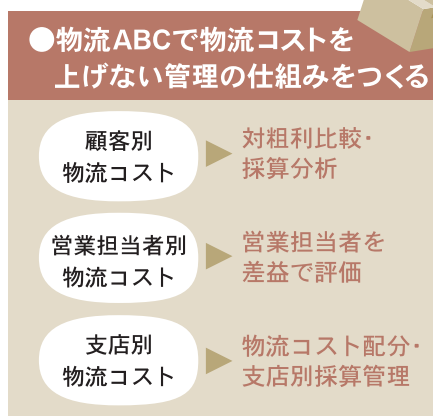
県内の物流センター

3 物流サービスのコストを計算し、顧客別に採算を分析する

多頻度少量の納品や、流通加工といった物流サービスには、それ相応のコストがかかっています。このような物流サービスのコストを計算できれば、顧客別の採算分析が可能になり収益改善の検討ができます。

4 共同物流施設の利用料金を公平に設定する

協同組合の物流施設など、複数の企業が共同で物流施設を利用する場合、それぞれの企業が顧客に対してどのような物流サービスを行っているかによって、物流施設の作業負担には大きな差が生じることから、物流ABCによって物流コストを算定すると、作業負担を正確に反映した公正な利用料金の算定根拠となります。



物流ABC算定ソフトの入手方法

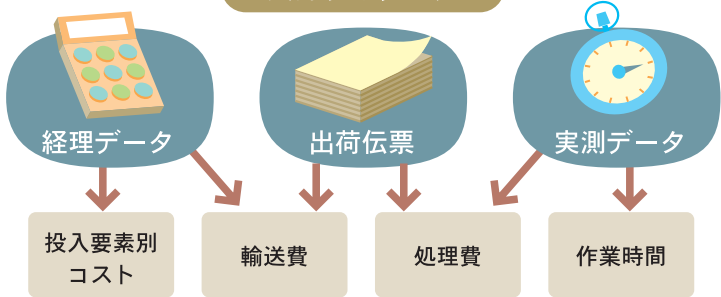
倉庫ABC算定・効率化ソフト、配送ABC算定・効率化ソフト等は、中小企業庁のホームページより無償でダウンロードできます。



●中小企業方ホームページアドレス
<http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/shogyo/index.html>

●問い合わせ先
経済産業部商務通商課
電話：098-864-2321

入力するデータ



得られる結果

物流ABC算定結果

	アクティビティ原価	アクティビティ単価
ケースピッキング	758,632円	20円/ケース
梱包	1,357,710円	39円/梱包

物流コスト総額算定結果

	金額	構成比	対出荷
物流施設内活動費	18,905,821円		
輸送費	21,352,110円		